

令和8年度

第2回 県居小学校運営協議会



令和8年7月27日 13:30～14:30

浜松市立県居小学校

第2回 学校運営協議会出席者

学校運営協議会委員

委員（会長）	いながき みよこ 稲垣 美世子
委員（副会長）	はやかわ だいすけ 早川 大介
委員	ほんだ まさあき 本多 正明（学校支援コーディネーター）
委員	なかむら えみこ 中村 恵美子
委員	かわむら けいこ 河村 恵子
委員	なかみち ゆみ 仲道 有美（学校支援コーディネーター）

オブザーバー

県居協働センター	和田 祐哉（わだ ゆうや）
----------	---------------

学校支援コーディネーター

黒田 雅美（くろだ まさみ）

学校

校長	鈴木 彰一（すずき しょういち）
教頭	北村 のぞみ（きたむら のぞみ）
教務	鈴木 克幸（すずき かつゆき）
C S 担当教職員	鈴木 克幸（すずき かつゆき）
C S ディレクター	石崎 慶子（いしざき けいこ）
県居小学校職員	上記他 14 名

第2回 浜松市立県居小学校運営協議会

令和8年7月27日(木)

13:30~14:30

音楽室

開会

<司会:会長 記録:石崎>

- 1 開催要件(委員の過半数の出席)確認
 - 2 会長挨拶
 - 3 議長の選出(出席した委員の中から互選)
 - 4 前回会議録確認
 - 5 熟議
 - (1) 中間評価を受けた2学期以降の改善策について
 - ① R8 グランドデザインの重点目標ごとに評価の確認。(克幸)
 - ② 教員で分析した成果や課題、改善策の提示。(グループ)
 - ③ 教員が考えた改善案に対して学校運営協議会の皆さんとグループ熟議を行う。
 - ④ グループごとに話し合いの内容を発表する。(各グループ代表)
- | | |
|------------------------|--------------|
| 〈熟議のグループ編成〉 | F・・・ファシリテーター |
| 学びグループ (本多・河村・黒田 教員4名) | F:久美子 記録: 早織 |
| 笑顔グループ (早川・仲道・和田 教員5名) | F:清 記録: 内山 |
| 元気グループ (稲垣・中村 教員5名) | F:大塚 記録: 久子 |
- (2) グループごとの発表を受けての全体熟議
 - ・学校運営協議会委員の皆さんのみによる熟議

○オブザーバーから

- 6 報告
 - ・1学期の県居小サポーターの活動報告
 - ・2学期の活動計画

- 7 連絡
 - (1)次回 令和8年11月19日(木)9:30~11:30
会場:県居小学校 会議室
 - (2)次回の熟議の内容の確認
 - ・今年度の目標について
 - ・業務量管理・健康確保措置についての検討

閉会

令和8年度 第1回 県居小学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和8年5月8日(金)10時20分から11時45分まで
- 2 開催場所 県居小学校 会議室
- 3 出席委員 本多 正明、早川 大介、中村 恵美子、稲垣 美世子、河村 恵子、仲道 有美
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 県居協働センター 和田 祐哉、土戸 瞬熙
- 6 学校支援コーディネーター 黒田 雅美
- 7 学 校 鈴木彰一(校長)、北村のぞみ(教頭)、鈴木克幸(教務主任)、石崎慶子(CS ディレクター)
- 8 教育委員会 磯部 志保(学校・地域連携課)
- 9 傍 聴 者 なし
- 10 会議録作成者 CS ディレクター 石崎慶子

11 議長の選出

会長から本多委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なく承認した。

12 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) いじめ防止基本方針について
- (3) 学校評価アンケートの項目について
- (4) 夢育やらまいか事業 CS 加算分に対する意見書について

13 会議記録

司会の稲垣会長から、委員総数6人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校運営の基本方針について

学校運営の基本方針について校長より説明があり、委員から、以下の発言があった。

・ランドデザインの「西部中学校区目指す子供の姿」について、西部中では昨年度廃止したとのこと。西部中に確認してもらえれば。(早川委員)

・ICT の活用について、まだピンとこない。文科省や教育委員会から ICT 教育の指針・ガイドラインのようなものは出ているのか?(本多委員)

→細かいものではないが、ガイドラインは出ている。(鈴木校長)

→ICT に対するイメージがぼんやりしている。ICT 活用に対して認識を統一していくべきではないか。(本多委員)

協議の結果、全員異議なくこれを確認した。

(2) いじめ防止基本方針について

いじめ防止基本方針について鈴木教務主任より説明があり、委員から以下の発言があった。

・年間計画において、2学期にオープン参観会とあるが、どの程度の周知されているのか?(河村委員)

→安全面のこともあり、地域に対して発信はしていない。祖父母含め、家族の範囲内である。(北村教頭)

協議の結果、いじめ防止基本方針について、共通理解が図れた。

(3) 学校評価アンケートの項目について

学校評価アンケートの項目案について、鈴木教務主任より説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・「結果の数値を見てもどう理解してよいかわかりにくいこと」を発端とし、アンケート項目について協議している。どういう項目、文言にしたら有効なアンケートと成りうるかを考えたい。10年分ほどのアンケート結果を AI に分析してもらおう、というのも価値があるのでは。(本多委員)
- ・「和歌が役立っている」という質問について、保護者にはわかりにくい。「影響を与えている」などの文言はどうか。(中村委員)
- ・アンケートに回答している保護者は、このアンケートが学校運営協議会で活用されていることを理解した上で回答しているのだろうか。協議会の場での熟議に繋がっていることを保護者に理解してもらったほうが、もっと意見がもらえるのではないかと。(早川委員)
 - 熟議のためというよりは、学校教育活動に反映していくため、ということでアンケートを取っており、結果を学校だよりで発信している。(北村教頭)
- ・学校での様子を問われているものがあり、保護者は参観会でくらいしか判断できない。昨年度の結果としても評価が低い。もっと具体的な文言であれば保護者が判断できると思う。(中村委員)
 - 数値化できるのは、できれば数値化してほしい。(本多委員)
- ・学校での様子について、家でしっかりと会話をできていないと回答が難しい設問があり、回答が難しいと思う。(中村委員)
- ・設問が唐突で回答しにくいものがある。設問は、学校独自で考えているものなのか。(黒田コーディネーター)
 - 学校ごとで考え、グランドデザインの内容が達成できているか、を設問としている。(北村教頭)
 - 訊きたいことを入力し、生成 AI に質問を考えてもらう、というのも参考になるのではないかと。(黒田コーディネーター)
- ・「話をしたことがある」という聞き方では、どの期間で問われているのかわかりにくい。(本多委員)
- ・設問を今までと大きく変えてしまうと、前回までの結果との比較ができなくなるため、比較ができるような変更となるようにする必要がある。

熟議の内容を受け、項目については学校側で検討を行うことで了承した。

(4) 夢育やらまいか事業 CS 加算分に対する意見書について

夢育やらまいか事業に対する意見書について、北村教頭より説明があり、全員異議なく承認した。

オブザーバーより

- ・浜松市では、子ども政策に力を入れており、政策について様々な媒体で情報発信をしている。県居小においても、経営方針や県居のひびき、いじめ防止基本方針などを児童や地域の方に浸透させていくために、A4 ポスターを作成するなど、協議会において検討していくとよいと思う。
- ・いじめに関する資料について、紙を破棄した後、データは残っていることがある。データの破棄についても意識していただきたい。
- ・和歌の掲示で協働センターを活用いただいているが、今後、放課後の小学生の居場所作り事業を推進していく。こちらもぜひ活用していただきたい。

- ・県居協働センター前の公園において、公園の外部分でのボール遊びが見られるため、注意喚起をお願いしたい。

14 報告

学校支援コーディネーターの仲道さんより、県居サポーターの活動報告があった。

5月12日にサポーター説明会を実施予定で、5月26日の草取りが今年度最初の活動となる。例年と同様、授業の補助がメインとなる。今年度は、水やりを休日にもできたらよいと考えている。5月10月の草取りは、民生委員にも協力をお願いして、地域の方々にも広くサポーターとして活動していただきたいと考えている。

学校支援コーディネーターの黒田さんより、図書ボランティアの活動報告があった。

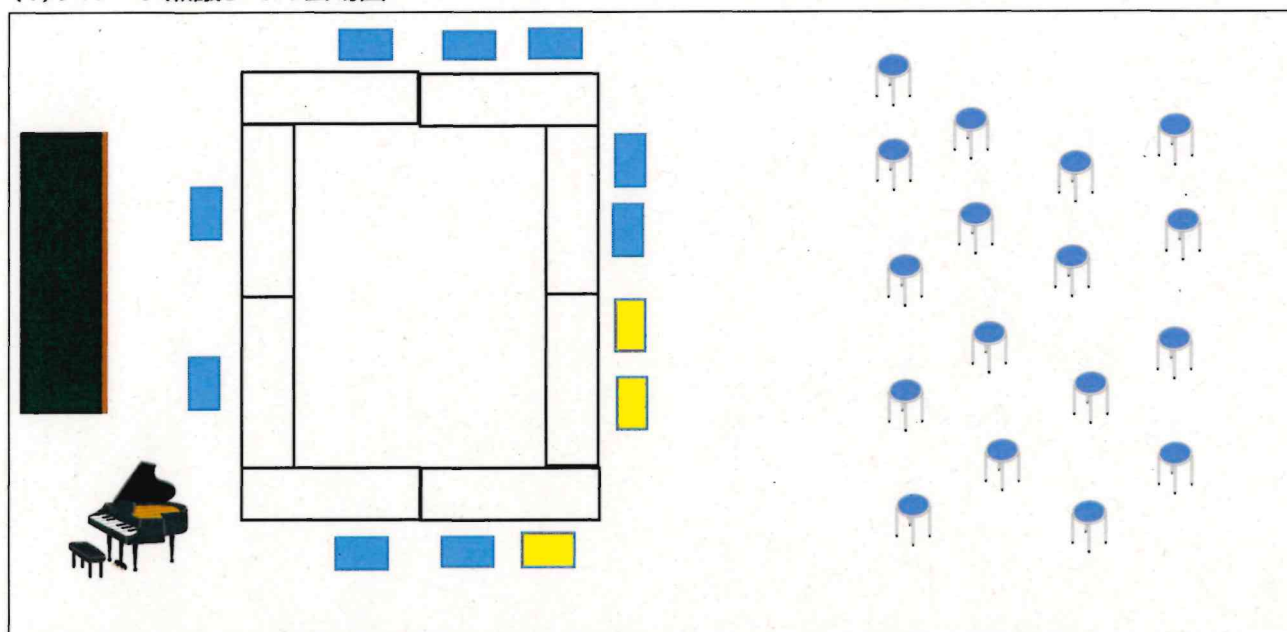
今年度の読み聞かせは始まっており、年間32回を予定している。掲示は4月に1回活動し、協働センターへの和歌掲示も含め、年間22回の活動を予定している。お話メロディは、6月4日に第1回を催し、年間4回の活動を予定している。

その他連絡事項

北村教頭から、次回会議は、令和8年7月27日(月)13:30より、県居小音楽室で開催する旨の連絡があった。

会場図（音楽室）

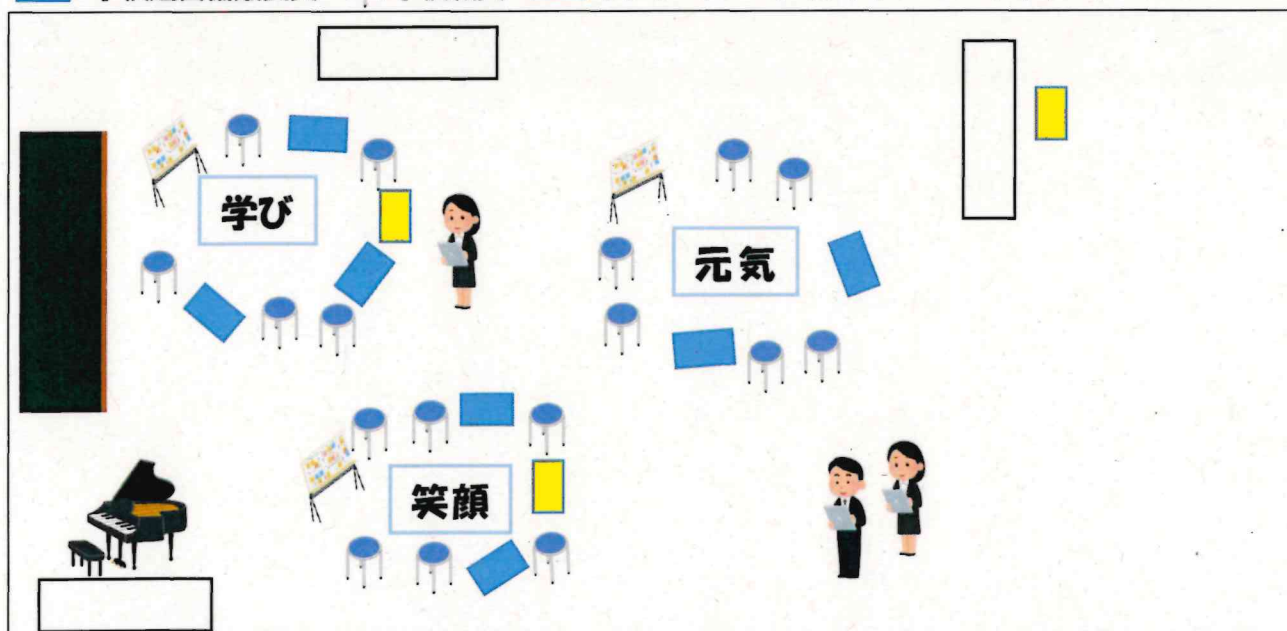
(1)グループ熟議までの会場図



*音楽室前半分は、学校運営協議会の並び方で、設定します。後方に、職員が座ります。

(2)グループ熟議

■ 学校運営協議委員 ● 学校職員 ■ オブザーバー・ディレクター・コーディネーター



*グループ熟議に移るときに、会場レイアウトを変更します。オブザーバー、コーディネーターさんもグループにお入りください。

*グループ熟議が終了したら、(1)の会場レイアウトに戻します。(御協力よろしくお願いします。)

令和8年度 浜松市立県居小学校 グランドデザイン

〈第4次浜松市教育総合計画〉

- 1 基本理念
描く夢や未来の実現
- 2 目指す子供の姿
 - ・自分らしさを大切にできる子供
 - ・他者と協働し、主体的に行動できる子供
 - ・自己調整しながら、粘り強く取り組む子供

建学の精神「県居の心」

学ぶ心 愛する心 師弟の心

〈目指す学校像〉

- 子供の生き生きとした姿と笑顔があふれる学校
- 「チーム県居」として、互いに協力し、磨き合い、高め合う学校
- 安全・安心を保障し、落ち着きと潤いがあり、環境が整っている学校
- 保護者・地域と共に歩み、信頼される学校

〈西部中学校区目指す子供の姿〉

- 1 あいさつが自分からできる子
- 2 呼ばれたらよい返事ができる子
- 3 時間を守って生活ができる子
- 4 正しい服装ができる子
- 5 人の気持ちをわかることができる子

〈県居のひびき〉

あかるい声で

あいさつをします

かんがえ合い

分かるまで勉強します

たくましく

心も体もきたえます

いっしょうけんめい

みんなのために働きます

〈学校教育目標〉

「県居のひびき」を実現する子

〈令和8年度の重点目標〉

- (知)自分の考えをもち、主体的に学びあう子の育成
- (徳)自分を大切にし、他を思いやる心の育成
- (体)体力と安全意識の向上

学びいっぱい(知)

- 主体的に学びあう子の育成
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり
 - ・相手を意識した伝える力・きく力の育成
- 確かな学力の定着
 - ・個に応じた支援の充実
 - ・学習習慣の定着・家庭学習の充実
 - ・ICT 活用の推進
- 心と表現力を豊かにする教育活動
 - ・「県居に学んだことを誇りに思う活動」の推進
 - ・豊かな知性と感性を伸ばす読書活動

笑顔いっぱい(徳)

- 自己肯定感を育む学校生活の充実
 - ・どの子も自分らしさを発揮できる居場所づくり
(褒める・認める・選択させる)
 - ・認め合い安心できる学級づくり
 - ・道徳教育の充実
- 学校をよりよくするための特別活動の充実
 - ・目的を意識した係・委員会活動や行事の在り方
 - ・異年齢交流の充実
 - ・話し合い活動の充実

元気いっぱい(体)

- 体力の向上
 - ・運動することの楽しさや喜び、達成感を味わう学習活動
 - ・事故・けがの防止
- 保健指導・食育の充実
 - ・主体的な健康の維持増進(心の健康)
 - ・保護者と連携した食育の推進(アレルギー対応)
- 安全意識の向上
 - ・自他の生命を守る意識を育む指導
 - ・情報モラル教育の推進

個に応じた指導の充実

心が通う生徒指導

- 思いやりのある豊かな人間関係づくり
 - ・進んで気持ちのよいあいさつができる子の育成

発達支援教育の理念

- 発達支援教育の充実
 - ・個のニーズに合わせた適切な支援
 - ・保護者との連携

地域とともにある学校づくり

- コミュニティ・スクールの推進
- 家庭・地域との連携
- 積極的な情報発信
- 幼保小中連携

発達段階に応じたキャリア教育の推進

〈かかわる力・見つめる力・挑戦する力・つなげる力〉